

3年 道徳の年間指導計画例 (2018年～2019年)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 友だち屋 〔友だちになろう〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C 公正, 公平, 社会正義	◎互いを理解し大切にすることをもち、よりよい友人関係を育てる。 【理解, 判断力】 キツネに対するクマとオオカミの違いが分かる。 【心情】 対等の関係が友達であり、友達がいると楽しいことが分かる。 【実践意欲と態度】 相手の気持ちを大切に、よりよい友達関係を育てようとする。	1 友達について考える。 2 「友だち屋」を読んで考える。 3 キツネの変容について考える。 4 友達のつくり方について考える。 5 ワークシートにまとめる。	○道徳の授業 ・教材を読んで友達について話し合わせる。 ○読書活動 ・「友だち屋」シリーズや友情についての本を読み紹介し合わせる。 ○他教科 ・共同学習や体育科でのチームスポーツで協力して助け合わせる。 ○日常生活 ・互いに理解し合い信頼し、よりよい友情を育ませる。
4月	2. 電話のおじぎ 〔心をこめて〕 【主】B 礼儀 【関連】B 親切, 思いやり	◎礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接し、互いに気持ちよく生活しようとする。 【理解, 判断力】 真心の意味について知る。 【理解, 判断力】 あいさつや会釈は相手の存在を認めるときに出るものであり、形や心がそろったあいさつこそ、相手に通じるものであることが分かる。 【心情】 おばあちゃんのおじぎをする態度がすてきだと感じることができる。 【実践意欲と態度】 心を込めて、あいさつをしようと努めるようにする。	1 礼儀とはどのようなものか考える。 2 「電話のおじぎ」を読む。 3 どのようなあいさつをすると相手に伝わるのか考える。	○道徳の授業 ・「電話のおじぎ」を読んで、礼儀の大切さについて話し合わせる。 ・発展として、見える礼儀と見えない礼儀について比べてみることを伝え、家庭での話し合いのきっかけを与える。 ○日常生活 ・人との接し方に関して家族と連携させる。 ・見える礼儀と見えない礼儀について、家庭内で話し合わせる。 ・話し合いにより、普段意識している見える礼儀だけではなく、見えない礼儀にもよさがあることを改めて実感させる。 ○特別活動 ・「あいさつの励行」に関する標語やポスター作りを行い、定着させる。 ・話し合いや自分で見つけた見える礼儀・見えない礼儀について、ポスターや新聞にまとめる活動を行うことで、意識を定着させる。
4月	3. 千ばづる 〔しようじきな心〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】B 親切, 思いやり	◎自分の心に正直に、真心をもって明るい心で生活しようとする。 【理解, 判断力】 自分の心に正直でないと、いつまでも落ち着かないことが分かる。 【理解, 判断力】 真心をもって正直に行動すれば、心は晴れ晴れとして明るくなることに気づき、自分にも真心があることに気づく。 【心情】 心が正しくまっすぐにはたらいっている正直な心をもった人の話を読んで、感動することができる。 【実践意欲と態度】 正直に行動しようとする意欲をもつことができる。	1 正直な姿とはどのような姿か考える。 2 「千ばづる」を読んで正直のよさについて考える。 3 正直に過ごすことのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「千ばづる」を読んで、正直に生活することのよさについて話し合わせる。 ・発展として、明るい心で生活する友達の姿を見つけるよう促す。 ○日常生活 ・正直に生活することのよさについて家庭で話し合うよう促す。 ・係活動や清掃活動などで正直に、明るい心で振る舞う友達の姿を探してみる。 ・そういった友達の姿をカードに書き留めさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・正直に、明るい心で振る舞っている友達の姿を具体的に発表し、称賛させ合う。 ・日常生活で書き留めたカードを紹介し合わせる。
5月	4. 目をさますたね 〔しよくぶつのふしぎ〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 感動, 畏敬の念	◎植物の不思議を感じ取り、身の回りの植物を大切に育てる。 【理解, 判断力】 種は眠り続けていることが分かる。 【心情】 植物の知恵に驚き、種不思議に心が動く。 【実践意欲と態度】 身の回りの植物を大切にしようとする。	1 身の回りや今までに育てた植物について想起する。 2 「目をさますたね」を読んで、植物の不思議について話し合う。 3 学級園へ行き、植物の様子を観察して、ワークシートを書く。	○道徳の授業 ・教材を読んで植物について話し合わせる。 ○理科学習 ・ヒマワリやホウセンカなどを大切に育て、愛情をもって観察させる。 ○読書活動 ・植物に関する本を読み、植物の不思議について調べさせる。 ○日常生活 ・身の回りの植物に愛情をもって接するよう促す。
5月	5. 清作のおてつだい 〔自分でできること〕 【主】C 家族愛, 家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎「家族を思う心」を大切にしながら、家族のために自分でできることをしようとする。 【理解, 判断力】 「家族を思う心」が、「人を思う心」のもとになっていることが分かる。 【心情】 「家族を思う心」がよい未来につながることに感動する。 【実践意欲と態度】 自分の中にある「家族を思う心」を大切に行動しようとする。	1 家族のために「自分でできること」を考える。 2 「清作のおてつだい」を読み、野口清作少年が家族のために何をしたかを考える。 3 自分でできる、家族が喜ぶことを考える。	○学級活動 ・家族のために自分がしていることを振り返り、まとめさせる。 ・まとめたものを友達と紹介し合い、そのよさを認め合わせる。 ○道徳の授業 ・野口清作少年の「家族を思う心」から生まれた行為の良さについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分が家族のためにできることを計画、実践し、感想をまとめさせ、その感想を友達と紹介し合う。
5月	6. 心の優先席 〔きまりを生むもの〕 【主】C 規則の尊重 【関連】B 親切, 思いやり	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それを守る。 【理解, 判断力】 約束や社会のきまりは、人が安心して楽しく暮らして生きたいという心が形になったものであることが分かる。 【心情】 約束や社会のきまりをみんなが大切にしていることがわかり、りっぱだなと心が動く。 【実践意欲と態度】 約束やきまりの意義を理解し、しっかり守っていこうとする。	1 「全優先席」というきまりを紹介し、優先席は何のためにあるきまりかという問題意識をもつ。 2 「心の優先席」を読んで三人の意見を比べ、それぞれどのような意見なのか考える。 3 どうすることがおばあさんにとってうれしく、自分もよかったと思えるのかについて考える。 4 みんなが気持ちよく過ごすためのきまりと、それを守ろうとすることのよさについて自覚し、学習をまとめる。	○日常生活・学級生活 ・普段の生活や学級活動などで、自分たちの身近にある規則やきまりについて意識させる。 ○道徳の授業 ・「心の優先席」を通して、「規則」がだれかのためになり、また、よりよい生活に結びつくものであることを理解し、それを「尊重」することの大切さについて深めさせる。 ・児童自身の意識や価値の広まりや深まりを見取り、「規則の尊重」について自覚させる。 ○日常生活・学級生活 ・学級活動や普段の生活と関連して、価値について広めたり深めたり位置づけたりすることで、発展的な展開を意識づけさせる。 ・これらを記録として振り返り確認しやすく整理、明示させておく。また、きまりを守る人に着目させる。
5月	7. はた・らく 〔すすんではたらく〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎周りの人のことを考えて働くと感じ、自分もうれしい気持ちになることが分かり、進んで仕事をしようとする。 【理解, 判断力】 人のために働けば周りの人に喜ばれ、自分もうれしくなることが分かる。 【心情】 人のために働くということの大切さに心が動く。 【実践意欲と態度】 人のためになる仕事を進んでしようとする。	1 主題名から内容を想起し、興味関心をもたせ、「はた・らく」を読む。 2 主人公「ぼく」の変容の理由を考える。 3 進んで働くこととそれを支える意識について学習を振り返りまとめる。	○特別活動・日常生活 ・普段の生活や学級活動などで、勤労を始めとする公共のためにできることを意識させる。また、周りにそのように働いている人はいないか意識させる。 ○道徳の授業 ・「はた・らく」を通して、「すすんではたらく」ことにより、周りの人の喜びが自分の力や喜びになることを理解し、そのよさを感じ、自ら取り組ませる。 ・児童自身の意識や価値の広まりや深まりを見取り、「勤労, 公共の精神」の大切さについての価値を自覚させる。 ○特別活動・日常生活 ・学級活動や普段の生活と関連して価値について広めたり深めたり位置づけたりすることで発展的な展開を意識づけさせる。 ・これらを記録として振り返り、確認しやすく整理、明示させておく。また、そのように働く人に着目させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
6月	8. ドンマイ! ドンマイ! 〔なかまの気持ち〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】B 友情, 信頼	◎人には、相手の思いを理解すると、失敗も認め、許そうとする心があることを自覚し、よりよい関係をつくっていくとする。 【理解, 判断力】 相手が共通の目標に向かい、懸命に取り組もうとする心を持っていることがわかると、失敗も許そうという心がわいてくるのが分かる。 【心情】 相手の思いを理解することで失敗を許し、よりよい関係を築いていく姿に感動する。 【実践意欲と態度】 相手の思いを理解すると、失敗を認め、許そうとする心は自分にもあることが分かる。 【実践意欲と態度】 互いに相手の思いを理解しようとし、よりよい関係を築いていこうとする。	1 ドンマイという言葉の意味について話し合う。 2 「ドンマイ! ドンマイ!」を読み、よいチームになったのはなぜかについて話し合う。 3 仲間の気持ちを理解し、互いに声をかけ合えるチームについて話し合う。 4 自分たちも相手の気持ちを理解して声をかけ合い、失敗も許せる仲間を探してみようという活動について話し合う。	○道徳の授業 ・「ドンマイ! ドンマイ!」を読み、相手が共通の目標に向かい、懸命に取り組もうとする心を持っていることがわかると、失敗も許そうという心がわいてくることを学習させる。 ・そんな心を発揮している仲間関係を探そうという課題をもたせる。 ○学級活動と日常生活 ・自分たちにも、仲間の気持ちが分かったら失敗も許そうという心があるか探してみようという活動に取り組む、まとめさせ、発表させる。
6月	9. わたしのしたこと 〔親切とおせっかい〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎親切とおせっかいの違いに気づき、相手の立場になって親切にしようとする。 【理解, 判断力】 親切は時と場合によって、おせっかいとの違いが出てくるのがわかる。 【心情】 本当の親切とは、相手も自分も気持ちよくなるのだと感じる。 【実践意欲と態度】 相手の立場や気持ちをよく考えるように心がけ、進んで親切にしようとする。	1 「親切」と「おせっかい」の違いを意識する。 2 「わたしのしたこと」を読み、「親切」と「おせっかい」の違いについて考える。 3 親切にしたい場面に出会ったとき、自分ならどう行動するか考える。	○道徳の授業 ・「わたしのしたこと」を読んで、話し合わせる。 ○日常生活 ・話し合い活動の場面を多く取り入れ、友達のよさを朝・帰りの会などで話し合わせる。 ○読書活動など ・読み聞かせの時間などに、「かさこじぞう」などの童話を読み聞かせる。
重点主題：自分のいのち				
6月	10. いのちのまつり 〔いのちのつながり〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎受け継がれ、受け渡していくという生命のつながりが分かり、生命を大切に生きていこうとする。 【理解, 判断力】 自分の生命は、先祖・祖父母・両親・自分と受け継がれたものであり、自分も我が子へ受け渡していくものと分かる。 【心情】 そのように受け継がれ、受け渡していく自分の生命の尊さや不思議さに感動する。 【実践意欲と態度】 受け継がれ、受け渡していく生命の重さを自覚し、生命を大切に生きていこうとする。	1 命のつながりについて考える。 2 「いのちのまつり」を読み、命のつながりについて考える。 3 命のつながりについて、まとめる。	○道徳の授業 ・「いのちのまつり」を読んで、命のつながりについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分の命のつながりについて調べ、ノートなどにまとめさせる。 ○家庭との連携 ・自分の生まれた時の話を親や親せきに聞いて、命がつながる際の思いについて考えさせる。 ○道徳の授業 ・「いただきます」を読んで、自分の生命と他の生命との関わりについて考えさせる。
6月	11. いただきます 〔いのちのつながり〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 感謝	◎自分の生命と他の生命とのつながりが分かり、生命を大切に生きていこうとする。 【理解, 判断力】 自分の生命は、他の生命との関わりの中で、その恩恵を受け、生命力を高めていることが分かる。 【心情】 他の生命との関わりの中で、その恩恵を受けている自分の生命のありがたさに心が動く。 【実践意欲と態度】 他の生命とかわっている自分の生命のありがたさを自覚し、生命を大切に生きていこうとする。	1 「いただきます」というあいさつの意味を考える。 2 「いただきます」を読み、生命を支えるもとについて話し合う。 3 「命をいただく」という考えについて、どう思うか考える。	○道徳の授業 ・「いのちのまつり」を読んで、命のつながりについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分の命のつながりについて調べ、ノートなどにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「いただきます」を読んで、自分の生命と他の生命との関わりについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分の命が何に支えられているかについて考えたり、家族と話し合ったりして、ノートなどにまとめさせる。また、ウェビングなどの図の形でまとめさせる。 ・命を大切に生きる生き方について考えさせる。
7月	12. キツネおどり 〔ふるさとを大切に〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎郷土の伝統と文化を大切に、郷土の伝統行事に進んで参加しようとする。 【理解, 判断力】 郷土の伝統と文化が現在でも生き生きと伝えられていることが分かる。 【心情】 郷土の伝統と文化を愛し、守っていこうとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の生活に積極的に参加しようとする。	1 わたしたちの住んでいる地域のよさについて話し合う。 2 「キツネおどり」を読む。 3 自分たちの住む地域の様子について、改めて見直し話し合う。	○道徳の授業 ・「キツネおどり」を読んで伝統や文化を守っていくことの大切さについて考えさせる。 ○社会 ・郷土の学習や地域の文化財などの調査学習をさせる。 ・地域に残る文化財の特色や残っている理由について発表させる。 ○総合的な学習の時間 ・地域の行事の継承者不足や地域の活性化などを話題にし、児童それぞれが課題をもって地域の行事に参加する学習をさせる。 ・地域の行事を継承するために自分たちができることを考えさせる。
7月	13. 太郎のいどう教室 〔いつもきちんと〕 【主】A 節度, 節制 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎自分でできることは自分でやり、安全に気をつけて、自分から生活を整えていこうとする。 【理解, 判断力】 安全で快適な生活を送るためには、よく考えて行動することが大切であることを理解する。 【心情】 よく考えて行動するために、自らの行いの適切さに気づき、そのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自らの行いの適切さをよく考えて、よりよい生活をしようとする。	1 主題から内容を想起し興味関心をもって「太郎のいどう教室」を読む。 2 家族の目から見た主人公の様子を考える。 3 太郎の変容の理由を考える。 4 節度、節制のあるよりよい生活についての大切なことを自覚し、まとめる。	○日常生活・学級活動 ・普段の生活や学級活動などで、整理整とんを始めとする基本的な生活習慣を身につけることを意識させる。 ○道徳の授業 ・「太郎のいどう教室」を通して、整理整とんなどの安全で快適な生活を送るためには、よく考えて行動することが大切であることを理解し、自ら取り組ませる。 ・児童自身の意識や価値の広まりや深まりを見取り、「節度、節制」の大切さについての価値を自覚させる。 ○日常生活・学級活動 ・学級活動や普段の生活と関連して、価値について広めたり深めたり位置づけたりすることで、発展的な展開を意識づける。 ・これらを記録として、振り返り確認しやすく整理、明示させておく。
9月	14. 世界一うつくしい体そうをめざして —内村航平— 〔特徴を特長に〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎自分自身の特徴に気づき、それを磨き上げて、光り輝く特長にしていこうとする。 【理解, 判断力】 特徴を磨き上げることで光り輝く特長となることと、その磨き上げ方が分かる。 【心情】 光り輝く特長に磨き上げていこうとする心を、すばらしいと思う。 【実践意欲と態度】 自分自身の特徴を、光り輝く特長に磨き上げていこうとする。	1 自分の特徴は何か考える。 2 「世界一うつくしい体そうをめざして」を読み、内村選手が自分の特徴をどうしていったかを考える。 3 自分の特徴をこれからどうしていきたいかを考える。	○学級活動 ・「自分の特徴は何なのか」を考え、それを友達と紹介し合う。 ・自分の特徴や友達の特徴が、長所と短所の両方を持ち合わせていることを話し合わせ、多面的・多角的な見方を身につけるとともに、相互理解を図らせる。 ○道徳の授業 ・「世界一うつくしい体そうをめざして —内村航平—」を読み、特徴と特長の関係性について考えさせる。 ・自分を光り輝かせていく手立てや、心の在り方についての理解を深めさせる。 ○日常生活 ・世界一になった人の本を見つけさせる。 ・その人がどのようにして特徴を特長に磨いていったのか考えながら読ませる。 ・自分の読んだ本のあらすじや考えたことを、紹介し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	15. ないた赤おに 〔本当の友だち〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 相互理解, 寛容	◎友達のことを心から思いやり、自分にできることを精一杯しようとする。 【理解, 判断力】 友達の願いをかなえたいと思う心や、友達のために精一杯しようとする心は、自分ももっていることが分かる。 【心情】 友達のことを心から思いやる心をもって、友達の願いをかなえようと精一杯尽くした人の心や行為に触れて、感動することができる。 【実践意欲と態度】 友達のことを心から思いやり、支え合って生活していこうとする。	1 赤おにと青おには友達なのだろうかという問いをもって「ないた赤おに」を読む。 2 赤おにと青おにのどんなところが友達だと思うか話し合う。 3 友達のために精一杯行動した人は、他にいないかについて話し合う。 4 友達のために精一杯行動した人をもっと探そうという課題について話し合う。	○道徳の授業 ・「ないた赤おに」を読んで、友達のことを思いやる心について話し合わせる。 ・友達のために精一杯行動した人をもっと探そうという課題をもたせる。 ○日常生活 ・友達のために精一杯行動した人について調べ、発表させる。
9月	16. うみねことたんぼぼ 〔生きる力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 自然愛護	◎生命のもつ力強い生きる力が分かり、自らもその力を発揮し、一生懸命生きていこうとする。 【理解, 判断力】 生命には、困難や逆境にも負けない、力強い生きる力があることがわかる。 【心情】 生命のもつ生きる力に感動する。 【実践意欲と態度】 生きる力を発揮して、一生懸命生きていこうとする。	1 「生きる力」について考える。 2 「うみねことたんぼぼ」を読み、生きる力について話し合う。 3 人間の「生きる力」について考える。 4 「生きる力」について、自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「うみねことたんぼぼ」を読んで、生命のもつ「生きる力」について考えさせる。 ○日常生活 ・自分にもある「生きる力」やそのすばらしさを調べさせ、発表させる。 ○家庭との連携 ・家族と、自分の生まれてから今までの成長について話し合わせ、「生きる力」について考えさせる。 ○読書活動 ・生命の力強さや不思議さに関する書籍を読ませ、「生きる力」について考えさせる。
9月	17. ぼくは 太郎山 〔自分たちのきょうどをあいする心をもつ〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】D 自然愛護	◎自分たちの郷土のよさを知り、それを大切に守り、受け継いでいこうとする。 【理解, 判断力】 自分たちの郷土のよさを知れば知るほど、大切に守り、受け継いでいこうとする心が働くことが分かる。 【心情】 自分たちの郷土の大切な自然である太郎山や男体山を守ろうと努力している人々の生き方に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分たちの郷土のよさを大切に守り、受け継いでいくために、自分にできることをしていこうとする。	1 自分の住む町のよさについて考える。 2 「ぼくは 太郎山」を読み、郷土に対する思いについて話し合う。 3 自分の住んでいる町のよさについて、もう一度考え、発表する。	○社会科 ・自分たちの町のことを知るために、町探検に出かけ、自分たちの町のよいところを見つけさせる。 ○道徳の授業 ・「ぼくは 太郎山」を読んで、自分の住んでいる町のよさや、それを守ろうとする人々の思いについて考えさせる。 ○朝の会など ・自分たちの町のよさや、町のよさを守るために町の人が行っている活動などを調べさせ、発表させる。 ○家庭・地域との連携 ・家の人や、地域の人に話を聞いて、自分たちの町のよさについて考えさせる。 ○地域との連携 ・自分の住む町のよさを大切にするために、町の人と協力してできる活動に参加させる。
重点主題：きまりは何のため、だれのため？				
10月	18. こまるのはだれ？ これでもいいのかな？ 〔きまりは何のため〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする。 【理解, 判断力】 きまりをうまく働かせるためには、みんなが気持ちよく生活するなどきまりの意味を考えながら守ることが大切だとわかる。 【心情】 きまりの意味を考えながら守ることによって生まれる、みんなが気持ちよく生活するなどのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく生活するなど、きまりの意味を考えながら、きまりを守ろうとする。	1 きまりは何のためにあるのかという問いをもつ。 2 「こまるのはだれ？ これでもいいのかな？」を読み、きまりの目的について話し合う。 3 身の回りのきまりを探そう投げかける。	○特別活動 ・学級活動や学年行事において、自分たちできまりを決めさせ守らせながら行動する体験をさせる。 ・事後に体験について振り返らせ、問題点などを出し合うなど、反省の機会をつくる。 ○道徳の授業 ・「こまるのはだれ？ これでもいいのかな？」を読み、きまりの意味やよさについて理解させる。 ○道徳の授業 ・「みんなでつくろう！ がっきゅうルールブック」を読み、さまざまな視点で考え、きまりのよさについて理解させる。
10月	19. みんなでつくろう！ がっきゅうルールブック 〔きまりをまもるよさ〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする。 【理解, 判断力】 安全、学習、友達関係、学校、心などのさまざまな視点から、きまりのよさを理解できる。 【心情】 きまりを守ることによって生まれる、安心、集中、思い切り、仲よく、楽しいなどの気持ちよさを感じる。 【実践意欲と態度】 身の回りのきまりのよさについて理解し、それらを守ろうとする。	1 身の回りのきまりのよさについて調べたことを出し合う。 2 「みんなでつくろう！ がっきゅうルールブック」を読んできまりを守るよさについて話し合う。 3 調べたきまりのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「こまるのはだれ？ これでもいいのかな？」を読み、きまりをうまく働かせるためには、みんなが気持ちよく生活するなどきまりの意味を考えながら守ることの大切さを理解させる。 ○道徳の授業 ・「みんなでつくろう！ がっきゅうルールブック」を読み、安全、学習、友達関係、学校、心などのさまざまな視点から、きまりのよさを理解させる。 ・自分の家や町のきまりを調べ「わがや・わがまちのルールブック」をつくらせようとして投げかける。 ○日常生活 ・自分の家や町のきまりを調べ「わがや・わがまちのルールブック」としてまとめさせる。 ・ルールブックを友達と比べさせ、各々の家や町にあるさまざまなきまりと、そのよさについて話し合わせる。
10月	20. ぼくらは小さななかにはかせ 〔自分をステップアップ〕 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】B 友情, 信頼	◎自分から進んで目標を立て、障害や困難を自分で乗り越え、粘り強くやり遂げようとする。 【理解, 判断力】 自分が決めた目標には、粘り強くやり遂げようとするエネルギーがあることに気づく。 【心情】 目標をやり遂げるためには、できないことや分からないこと、苦手なことなどを自力で乗り越えようとする強い意志が大切であることを知り、心が動く。 【実践意欲と態度】 自分の目標を決め、どのようなことがあっても、その目標に向かって努力しようとする。	1 「苦手」を「得意」に転換する方法について考える。 2 「ぼくらは小さななかにはかせ」を読み、努力することの大切さについて考える。 3 努力することのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「ぼくらは小さななかにはかせ」を読んで、努力のよさについて話し合わせる。 ・自分の頑張っていたことについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分の目標を決め、ゴールへ向けての活動計画を立てさせる。 ・それらをカードに書き込み、いつでも見られるように掲示させる。 ○総合的な学習の時間 ・自分の目標を決め、ゴールへ向けての活動を行い、定期的に振り返らせる。
10月	21. わたしだって 〔広い心で〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】A 正直, 誠実	◎広い心を持ち、相手の失敗を許すことができる。 【理解, 判断力】 絵をよごされたけい子の許せない気持ちに共感する。 【心情】 失敗はだれにでもあるから、許す心も必要であることがわかる。 【実践意欲と態度】 寛容のよさについて理解し、進んで実践しようとする。	1 失敗について考える。 2 「わたしだって」を読んで失敗を許すことについて考える。 3 心の広さについて考える。	○道徳の授業 ・寛容な心について話し合わせる。 ○帰りの会 ・自分の失敗を許してもらったときに、心が軽くなったことを発表させる。 ○日常生活 ・失敗はだれにでもあるという意識を持ち、寛容な心で相手の失敗を許す態度で生活させる。 ・失敗を許してもらった経験から、他者の失敗に対しても寛容な心をもって生活させる。
11月	22. 花さき山 〔心のうつくしさ〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】A 正直, 誠実	◎人の心の美しさに感動し、自分の心も美しく輝かせようとする。 【理解, 判断力】 人を感じる心が他者が喜ぶ行為を生むものになっていることが分かる。 【心情】 他者の喜びを願う心から生まれる行為や、行為をしないよさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分の中にも同じ心があることを自覚して、心を美しく輝かせようとする。	1 心が美しいとはどういうことなのかを考える。 2 「花さき山」を読み、「あや」や「あんちゃん」のどのような心が、花さき山の花を咲かせたのかを考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○学級活動 ・日常生活の中で、友達のよいところを見つけ、伝え合わせる。 ・教師自身も子どもの具体的なよかったできごとを見つけておき、道徳の時間に伝えられるようにしておく。 ○道徳の授業 ・人の心の美しさに感動し、自分の心も美しく輝かせようとする。 ○日常生活 ・日常生活の中で、花さき山に花を咲かせることができるよい行為を見つけ、見つけたら学級内に花を飾るなど、環境のくふうをする。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
11月	23. 思い切って言ったらどうなるの？ 〔どうすることが正しいか〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】B 友情, 信頼	◎相手がだれであっても、正しいと思ったことは自信をもって実行していこうとする。 【理解, 判断力】 自分が正しいと思ったことが実現できたら、明るい気持ちになるのだと分かる。 【心情】 自分が正しいと思ったことを強い心で相手に伝えることはすてきだと思う。 【実践意欲と態度】 自分が正しいと思ったことは、自信をもって実行していこうとする。	1 正しいと思うことでできない時はどんな時か想起する。 2 「思い切って言ったらどうなるの？」を読み、話し合う。 3 学習のまとめをする。	○日常生活 ・正しいと思ったことも実現できないことなどのアンケートを取っておく。 ○道徳の授業 ・「思い切って言ったらどうなるの？」を読んで話し合わせる。 ○読書活動など ・伝記の本を読めるように、学級図書に伝記の本をそろえて、子どもたちが進んで読むよう促す。 ・伝記の主人公がどんな判断をした人かを、紹介し合うコーナーをつくる。
11月	24. いちようの木をまもるために 〔学校をまもる人〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学校をつくろうとする。 【理解, 判断力】 学校は、いろいろな人々に支えられ、思い出や歴史などのよさが守られていることが分かる。 【心情】 学校がいろいろな人々に支えられ、思い出や歴史が守られていることに心を動かす。 【実践意欲と態度】 楽しい学校やクラスをつくるためにできることを探し行おうとする。	1 自分の学校のよいところについて話し合う。 2 「いちようの木をまもるために」を読んでこの学校のよいところについて考える。 3 自分の学校で大切にしているものを探す。 4 校長先生の講話を聴く。	○道徳の授業 ・「いちようの木をまもるために」を読み、学校がいろいろな人々に支えられていることや、それによって思い出や歴史が守られていることを理解し心を動かさせる。 ○学級活動 ・明るく楽しい学校やクラスをつくるために、自分たちにできることについて話し合わせる。 ・係活動や当番活動等話し合って決めたことを実行させる。 ・活動によって、学校やクラスが明るく楽しくなったところを紹介させる。 ○総合的な学習の時間 ・学校の校歌や校章の意味、込められた願いなどについて調べ、新聞等にまとめさせる。
11月	25. ぼく知らなかったよ 〔自分を支えてくれる人へのかんしゃ〕 【主】B 感謝 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎自分はいろいろな人々に支えられていることを知り、それらの人々に尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解, 判断力】 自分たちの生活を支えるために、たくさんの人々が幸せを願って働いていることが分かる。 【心情】 自分たちの生活を支えるために働いている、たくさんの人々の心や行動に感動する。 【実践意欲と態度】 自分たちを支えてくれている人々の心や行為に尊敬の念を抱き、感謝の心をもって生活していこうとする。	1 自分たちの生活を支えてくれている人について考え話し合う。 2 「ぼく知らなかったよ」を読み、井上さんとたっくんの思いについて話し合う。 3 井上さんのように自分たちの幸せを願って支えてくれている人がいないか話し合う。 4 今後の活動について話し合う。	○道徳の授業 ・「ぼく知らなかったよ」を読み、人々の生活を支える人の思いと、それを理解し感謝せずにはいられない心について話し合わせる。 ・自分たちの生活を支えてくれている人の思いを調べようという課題をもたせる。 ○日常生活 ・自分たちの生活を支えてくれている人にインタビューし、仕事・思い・調べた感想をまとめ、発表させる。 ・自分たちの生活を支えてくれている人に感謝の思いを伝える手紙を書かせる。
12月	26. お母さん、かぜでねこむーちびまる子ちゃんー 〔かぞくへの思いやり〕 【主】C 家族愛, 家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。 【理解, 判断力】 まる子のことを大切に思う母の気持ちを知り、心が動く。 【心情】 泣きながら眠るまる子の気持ちに共感する。 【実践意欲と態度】 家族に感謝の心をもち、自分にできることをしようとする。	1 自分の家族について考える。 2 「お母さん、かぜでねこむ」を読んで、まる子の気持ちに共感する。 3 自分の家族について考える。	○道徳の授業 ・教材を読んで家族のよさについて考えさせる。 ○日常生活 ・家族の一員として、自分にできる仕事を見つけて実行させる。 ○読書活動など ・家族の絆について書かれた本を読み、自分の家族について考えを深めさせる。
12月	27. 生きたれいぎ 〔生きたれいぎ〕 【主】B 礼儀 【関連】B 親切, 思いやり	◎礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。 【理解, 判断力】 礼儀は、単に目に見える動作のよさだけでなく、相手の人格を尊重しようとする心から発していることが大切であることに気づく。 【心情】 相手の人格を尊重しようとする心と形(作法や態度)が合わさったとき、人の心を温かくすることに共感する。 【実践意欲と態度】 相手に対して心を込めて礼儀を尽くそうとする意欲をもつ。	1 なぜ礼儀があるのかを考える。 2 「生きたれいぎ」を読んで、「れいぎ」のよさについて話し合う。 3 「生きたれいぎ」のよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「生きたれいぎ」を読んで、礼儀のよさについて話し合わせる。 ・発展として、自分の身の回りにある「生きたれいぎ」を探させる。 ○日常生活 ・「礼儀正しくしてよかったこと」や「身の回りで見つけた『生きたれいぎ』」などを、朝の会・帰りの会などで発表させる。 ○家庭生活 ・「生きたれいぎ」を家族で読み合い、家族での礼儀について話し合わせる。 ・話し合ったことを道徳ノートに記述しておき、後日学校で発表させる。
1月	28. うわさ話・つらい気持ち 〔じょうほうの正しさ〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】B 相互理解, 寛容	◎いろいろな状況を踏まえて、善悪を自らが判断し、行動しようとする。 【理解, 判断力】 いろいろな状況を踏まえ、深く考えることで、正しいことが判断できると分かる。 【心情】 うわさ話をよく考えないで信じてしまうと、後で悔いることになると感じる。 【実践意欲と態度】 いろいろな状況を踏まえて考え、自ら正しいことを判断し、行動しようとする。	1 「うわさ話」について考える。 2 「うわさ話・つらい気持ち」を読み、考える。 3 生活の中で、どのように生かせるか話し合う。	○日常生活 ・朝の会で日直による一分間スピーチなどでニュースを取り上げ、お互いの感想を交流できる場を設けておく。 ○道徳の授業 ・「うわさ話・つらい気持ち」を読んで、正しいことを判断するために大切なことを考えさせる。 ○教科・特別活動 ・ニュースを見たり聞いたりして、自分がどのように判断したかを交流させる。
1月	29. おばあちゃんのおせち 〔おばあちゃんってすごい〕 【主】B 感謝 【関連】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	◎自分たちは、高齢者に支えられて生活していることを知り、高齢者に対して尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解, 判断力】 高齢者は、長い人生を過ごして豊かな経験に基づく知恵をもっていることが分かる。 【心情】 自分たちの生活を支えるために働いている、高齢者の思いや行動に感動する。 【実践意欲と態度】 高齢者の生き方や知恵に対して、尊敬の念を抱き、感謝の心をもって生活していこうとする。	1 自分たちは、日ごろどんな人にお世話になっているかについて考え話し合う。 2 「おばあちゃんのおせち」を読み、のぶくんやおばあちゃんの思いについて話し合う。 3 「おばあちゃんのおせち」を読み、のぶくんやおばあちゃんの思いについて話し合う。	○道徳の授業 ・「おばあちゃんのおせち」を読み、おばあちゃんが自分たちの生活を支えてくれていることやその思いを知ること、感謝せずにはいられない心について話し合わせる。 ・自分たちの生活を支えてくれている高齢者について考えさせ、その思いについても調べてみたいという意欲をもたせる。 ○学級活動 ・自分たちの生活を支えてくれている高齢者にインタビューし、行為や思いを調べ、感想をまとめ、発表させる。 ・自分たちの生活を支えてくれている高齢者に感謝の思いを伝える手紙を書かせる。 ○家庭との連携 ・「おせち」のように、昔から受け継がれ、現在の生活につながっているものについて家族と話し合わせ、昔の人の知恵や日本の文化と伝統のよさに気づかせる。
重点主題：自分の力 みんなの力				
2月	30. 四人五きやく 〔みんなで力を合わせて〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】B 友情, 信頼	◎学級に関わるいろいろな人々が、みんなで協力し合って楽しい学級をつくっていこうとする。 【理解, 判断力】 楽しい学級をつくっていくためには、学級に関わるいろいろな人々の協力や支えが必要であることが分かる。 【心情】 互いに思いやり、協力し合い、楽しい学級をつくっていこうとする思いに共感する。 【実践意欲と態度】 楽しい学級をつくるために自分たちにできることを考え、行動しようとする。	1 友達と力を合わせるの意味について話し合う。 2 「四人五きやく」を読む。 3 大きな力を発揮するために必要な気持ちについて話し合う。	○道徳の授業 ・「四人五きやく」を読んで、学級に関わるいろいろな人々が協力し合って楽しい学級をつくっていくことの大切さについて考えさせる。 ○日常生活・朝の活動 ・行事などで、友達や学級の仲間と力を合わせた経験を、ノートに記録させる。 ・力を合わせて学級をつくっていくことのよさについて発表させる。 ○特別活動 ・協力や支え合いという観点から自分たちの学級のよさや問題点を出し合わせる。 ・自分たちの学級が協力し、楽しくなるためにできることを話し合わせ、実践できる計画を立てさせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	31. きょうりょくクラス 〔クラスのまとまりパワー〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合おうとする。 【理解, 判断力】 相手の気持ちを考え, 理解し合っていくうちに友情が深まっていくことが分かる。 【心情】 相手の気持ちを考え, 互いに支え合い, 物事を成し遂げようとする思いに共感する。 【実践意欲と態度】 信頼関係をつくり, 助け合うために自分たちにできることを考え, 行動しようとする。	1 クラスがまとまることによって生まれる力について話し合う。 2 「きょうりょくクラス」を読む。 3 一人ひとりの力がまとまった結果, できることについて話し合う。	○道徳の授業 ・「きょうりょくクラス」を読んで, 友達と互いに理解し, 信頼関係をつくり, 助け合おうとすることの大切さについて考えさせる。 ○日常生活・朝の活動 ・友達と助け合い, 協力して「まとまりパワー」が生まれたときのことを思い出し, 記録させる。 ・助け合い, 協力しながら学級をつかっていくことよさについて発表させる。 ○特別活動 ・助け合いという観点から友達のよさや友達の大切さを出し合わせる。 ・自分たちの学級が助け合い, まとまることでできることを話し合わせ, 実践できる計画を立てさせる。
2月	32. やくそくだもん 〔やくそくをまもる〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎友達との約束を守り, 互いの信頼関係をよりよくしようとする。 【理解, 判断力】 約束を守るとすっきりしたい気持ちになることが分かる。 【心情】 約束を守るとさらにより人間関係をつくることができることが分かる。 【実践意欲と態度】 約束の意義が分かり, これからも約束を守ろうとする。	1 約束について考える。 2 「やくそくだもん」を読んで考える。 3 学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・教材を読んで約束を守ることについて話し合わせる。 ○学級活動 ・係活動や自分の責任を果たすことが学級での約束を守ることと捉えさせる。 ○日常生活 ・約束を守ることによって友達ともっと仲よくなろうとするよう促す。 ○読書活動など ・伝記や名作から約束を守った物語を探して読み, 紹介し合わせる。
2月	33. 赤い灯 ゆれろ 〔友だちのすばらしさ〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 親切, 思いやり	◎友達を互いに理解し, 信頼し, 助け合う。 【理解, 判断力】 友達の心をくみ取り, 自分にできることを精一杯に行おうとする心があることが分かる。 【心情】 友達の心をくみ取り, 自分にできることを精一杯に行う姿に感動する。 【実践意欲と態度】 友達どうし, 相手の思いを理解し, 助け合っていこうとする意欲をもつことができる。	1 友達っていいなと思ったことについて話し合う。 2 「赤い灯 ゆれろ」を読み, 三人の友達がなぜ雪どうを作ったのかについて話し合う。 3 他にも友達の心をくみ取り, 自分にできることを精一杯に行おうとする心をもっている人がいないか話し合う。 4 友達のよさやこれからの接し方についてまとめる。 この心について調べ, 発表する活動について話し合う。	○道徳の授業 ・「赤い灯 ゆれろ」を読んで, 友達の心をくみ取り, 自分にできることを精一杯に行おうとする心について学習させる。 ・友達の心をくみ取り, 自分にできることを精一杯に行おうとする心について調べようという課題をもたせる。 ○日常生活 ・友達の心をくみ取り, 自分にできることを精一杯に行おうとする心について調べ, 発表させる。
3月	34. お日さまの心で 〔だれとでもなかよくするために〕 【主】C 公正, 公平, 社会正義 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎だれに対しても分け隔てをせず, 公正, 公平に接しようとする態度を育てる。 【理解, 判断力】 だれとでも仲よくするためには, 時と場と相手を考えて公平に接しようとする心と行動が大切であると分かる。 【心情】 だれとでも仲よくするために, 時と場と相手を考えて公平に接しようとする心と行動のよさに共感する。 【実践意欲と態度】 だれとでも仲よくするために, 時と場と相手を考えて公平に接している人を見つけようとする。	1 だれとでも仲よくするために大切なことは何かについて考える。 2 「お日さまの心で」を読み, だれとでも仲よくするために大切なことについて考え合う。 3 「お日さまの心で」と, そのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「お日さまの心で」を読み, だれとでも仲よくするために大切なことは何かを考えさせる。 ・相手との関係や時と場を考え, それらに応じてだれとでも分け隔てない公平な接し方をくふうすることと, そのよさについて理解させる。 ○日常生活 ・「お日さまの心」でしている活動や, その心で過ごしている人を探し紹介し合わせる。 ○家庭との連携 ・「公平」について家族で話し合わせ発表させたり, 読書活動においてその心で過ごしている人を見つけさせたりして, 紹介し合う場を設ける。
3月	35. 海をわたるランドセル 〔ほかの国のことを考える〕 【主】C 国際理解, 国際親善 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎他の国の人々の生活や文化に関心をもち, 互いに大切な関係であることが分かる。 【理解, 判断力】 他国の生活や文化を自分たちとの共通点や相違点を見いだして理解する。 【心情】 他国の生活や文化を大切にすることは, 自分たちが自国の生活や文化を大切にすることと同じであることに心が動く。 【実践意欲と態度】 他国の生活や文化の大切さを理解したうえで, 自分ができることを考える。	1 教材の題名から内容を想起し興味関心をもつ。 2 主人公たちのランドセルに対する思いを考える。 3 他の国の子どもたちのランドセルに対する思いと主人公の間に共通する思いを考える。 4 他の国と親しく関わるときに大切なことを自覚する。	○外国語活動・総合的な学習の時間 ・外国語活動や総合的な学習などで, 他国の文化を紹介する活動を設定したり, 国際的なイベントを取り上げるなど, 日本と他の国との関わりを意識させる機会をもたせる。 ○道徳の授業 ・「海をわたるランドセル」を通して他国の生活や文化を理解したり, 日本との関係の深さに触れたりし, 親しみをもって関わろうとする態度と心を育ませる。 ・児童自身の意識や価値の広まりや深まりを見取り, 国際理解や国際親善の大切さを自覚させる。 ○他教科 ・社会科・総合的な学習の時間と関連して, 国際理解や国際親善の大切さについて広めたり深めたり位置づけたりすることで発展的な展開を意識づける。 ・これらを記録として振り返り確認しやすく整理, 明示しておく。
付録	36. 台風の日 〔よく考えて行動する〕 【主】A 節度, 節制 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎安全を考え, よく考えて行動する。 【理解, 判断力】 理由を考えて, 危険回避することができる。 【心情】 危険から身を守るにはよく考えて行動することが大切であると分かる。 【実践意欲と態度】 よく考えて行動し, 安全な生活をしようとする。	1 生活上の危険について話し合う。 2 「台風の日」を読んで, 予想される危険について話し合う。 3 身の回りに潜む危険について話し合う。	○道徳の学習 ・よく考えて行動し, 安全に気をつけて生活しようとする意欲をもたせる。 ○交通安全教室・避難訓練など ・「もしも○○だったら」と考えて行動し, 最も安全な方法を考えて行動しようとする意欲をもたせる。 ○学校生活 ・けがをしないように安全に気をつけて生活しようという意欲をもたせる。
付録	37. おばあちゃんのコースター 〔心がとどくとき〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】B 感謝	◎相手の気持ちを考え, 進んで親切にしようとする。 【理解, 判断力】 親切な行いは自分も相手も気持ちよくなることが分かる。 【心情】 相手の気持ちを考え, 親切にしようとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 自分の周りの人々に対して, 思いやりの心をもって親切にしようとする心がかかる。	1 相手の気持ちを考え, 心を伝えることについて話し合う。 2 「おばあちゃんのコースター」を読む。 3 「けんたがもっていたすすきさんに対する心」について話し合う。	○日常生活 ・友達に親切にできた経験, 親切にしようと思ってもできなかった経験を記録させる。 ○道徳の授業 ・「おばあちゃんのコースター」を読んで, 相手の気持ちを考え, 進んで親切にしようすることの大切さについて考えさせる。 ○朝の活動・日常生活 ・相手の気持ちを考えた思いやりの心をもつことで, 自分にどのようなことができるか考えさせ実践を促す。 ○総合的な学習の時間 ・地域の福祉施設での訪問を計画し, お年寄りや交流する学習を仕組む。 ・お年寄りを喜ばせるために自分たちができることを考えさせる。
付録	38. こまったときは, おたがいさま 〔日本人の心〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】B 親切, 思いやり	◎日本人が受け継いできた, 日本人の心が分かり, それを大切にしていこうとする。 【理解, 判断力】 日本人が受け継いできた日本人の心の一つは, 困っている人の思いが分かり, 自分のことのように受け止め, 相手の立場に立つ, 思いやりの心であることが分かる。 【心情】 そうした日本人の心のすばらしさに対し, 心が動く。 【実践意欲と態度】 日本人の心を大切に, 生きていこうとする。	1 日本人のよさについて考える。 2 「こまったときは, おたがいさま」に込められた, 日本人の心について考える。 3 日本人の心のすばらしさを感じる。 4 日本人のよさについて再び考える。	○道徳の授業 ・「こまったときは, おたがいさま」を読んで, 日本人のよさや日本人の心について考えさせる。 ○日常生活 ・「日本人のよいところ」はどこなのかを, ニュースなどで探させ発表させる。 ○地域との連携 ・日本人の心を感じるができる行事などに参加させる。 ○音楽科 ・日本人の心を感じるができる歌を歌い, 日本人の心のよさを感じさせる。 ○社会科 ・昔から続く祭りや伝統行事に込められた日本人の願いを調べて, まとめさせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	39. 命どうたから 〔命がかがやかせる〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎どの命も一つだけで、一度失われたら二度と戻らないということや、命がなくなると悲しむ人を知り、家族の大切な存在である自分の命を大切に輝かせようとする。 【理解, 判断力】 生きたくても生きられなかった命があることを知る。 【心情】 命がなくなっても、家族はいつまでもその人のことを大切に思い続けている心に感動する。 【実践意欲と態度】 「命どうたから」の意味について考え、自分の命を輝かせようとする。	1 「命の大切さ」についてそれぞれの考えを発表する。 2 「命どうたから」を読み, “命どうたから”に込められた思いについて考え, 話し合う。 3 自分の命をどのように大切にしているか考える。 4 「命どうたから」について, 自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「命どうたから」を読んで, 「命の大切さ」について考え, 「命を大切にすると」とはどういうことか考えを深めさせる。 ○日常生活 ・「命を輝かせて生きている人」を探させたり, 調べさせたりして, ノートにまとめさせる。 ・自分の「命を大切にしている」「命を輝かせている」ことのすばらしさを調べさせ, 発表させる。 ○家庭との連携 ・家族と「命の大切さ」について話し合わせ, 「命を大切に生きている生き方」について考えさせる。 ○読書活動 ・「命どうたから」と同じような意味の言葉を書きなど調べ, 「命の大切さ」についてさらに考えさせる。
付録	40. ヨシノボリ 〔近くにすむ長いたびをする魚〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎自然に生きる動物の不思議な能力を知り, 生物や環境を大切にしようとする。 【理解, 判断力】 ヨシノボリの不思議な能力について分かる。 【心情】 ヨシノボリを大切に思う心をもつ。 【実践意欲と態度】 自然の生き物や自然環境を大切にしようとする意欲をもつ。	1 川にすむ魚について知っていることを話し合う。 2 「ヨシノボリ」を読んでヨシノボリについて考える。 3 ワークシートに書く。	○道徳の授業 ・教材を読んで自然に生きる動物の不思議さについて考えさせる。 ○理科 ・昆虫について学習し, 飼育活動を通して動物愛護の気持ちをもたせる。 ○読書活動など ・植物や動物の不思議な生態や能力について興味をもち調べさせる。 ○日常生活 ・身近な動物や植物に興味をもち, 大切にしよう促す。